

平成28年 8月24日

# 政務活動費成果届出書

届出者 鈴木好美

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

国では、子どもの将来が生まれた環境によって左右されることのない様に貧困の状況にある子どもたちが、健やかに育つ環境と充実した教育を図るため、子どもの貧困対策を推進する事を打出しています。しかし半田市では、子どもの貧困の状況については、実態がつかみ切れていない状況にあり、その為に有効な対策を打てていないと感じられます。そこで、

①子どもの貧困の状況について、実態を把握する方法を調べる。  
 ②半田市が行っている政策の現状と課題を把握する。

以上の事が必要であると考えています。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

- 1) 子どもの貧困は様々な状況から親の離婚・事故、病気等片親・家庭・経済苦等で貧困になりがちですが、地域と社会の繋がりからの取組みが必要と感じた。
- 2) NPO・地域・自治会は盤石であるが子どもを特化した取組みが活かされていない為、学校や地域など連携しての取組みが必要と感じた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- 1) 子どもの貧困の実態調査を(小・中学校)全て把握する事が必要。  
(個人情報等の壁をどこまで把握出来るか)
- 2) スクールソーシャルワーカーの拡充と活動を明確にする事。(子どもが求めている事・意見や思いの聞き取り・子ども自身の今後について等)
- 3) 基本方針の地域包括ケアシステムの中子ども包括の体制整備を設ける。
- 4) 地域・学校・家庭の連携で差別ない居場所づくりの整備。(行政は、家庭を変えることは難しいが、子どもを取り巻く環境(学校・地域等)からアプローチし、外部の大人とのつながりで子どもに夢や希望を与えることはできる。)

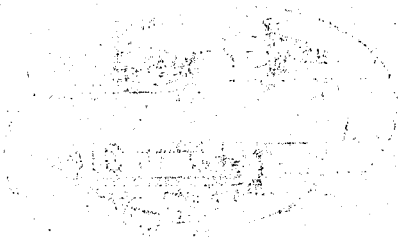
○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額 (円)	領収書 No.
7/20	14:00~ 16:00	勉強会 講師謝金	25,000	①
		鈴木好美分 (7分の1)	(3,580)	
		合 計	25,000	



# 政務活動費成果届出書

届出者 小出 義一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

国では、子どもの将来が生まれた環境によって左右されることのない様に貧困の状況にある子どもたちが、健やかに育つ環境と充実した教育を図るため、子どもの貧困対策を推進することを打出しています。しかし半田市では、子どもの貧困の状況については、実態がつかみ切れていない状況にあり、その為に有効な対策を打てていないと感じられます。そこで、

- ①子どもの貧困の状況について、実態を把握する方法を調べる。
- ②半田市が行っている政策の現状と課題を把握する。

以上のことが必要であると考えています。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

貧困線以下の所得水準で暮らす子どもは6人に1人で、半田市に暮らす子どもたちもその例外でない。しかしここで問題として捉えるべきは、経済的な事由より社会的な繋がりが乏しい子どもたちの生きる力の育成に問題が生じている点にある

定量的な把握は困難であるが、以下の対応が必要。

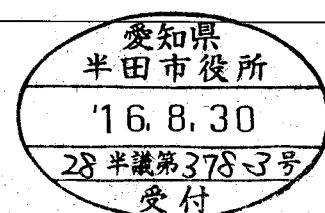
- ① 背景にある状況の変化などから状況を推察し、客観的な判断に努める。
- ② 子どもたちを取り巻く家庭・学校・地域・行政が連携した取り組みが必要。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

親の関わりが乏しいことが要因で、小学校3年頃に形成される学力の土台が形成されないケースも多くある。学力の土台を形成出来るようにすることが、貧困を連鎖させない重要な取り組み。状況を解決するためには、地域の支援活動に繋げる役割が必要で、小学校内でのスクールソーシャルワーカーの支援活動が欠かせない。本市に於いては、成岩中学校に1名のスクールソーシャルワーカーを配置している。小学校ではなく中学校1名の配置といった点について、配置する対象が不合理で人数が不足している。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額 (円)	領収書 No.
7/20	14:00~ 16:00	勉強会 講師謝金	25,000	①
		小出義一分 (7分の1)	(3,570)	
		合計	25,000	

# 政務活動費成果届出書

届出者 岩田玲子

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

子供の貧困連鎖について ～貧困の連鎖を断つ～

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

国では子供の将来が生まれた環境によって左右されることのないように貧困の状況にある子供たちが健やかに育つ環境と充実した教育を図るため子供の貧困対策を推進することをうちだしています。しかし半田市では子供の貧困の状況については実態がつかみきれていない状況にあり、そのために有効な対策を打てていないと感じられます。そこで、

- ① 子供の貧困の状況について実態を把握する方法を調べる。
- ② 半田市が行っている政策の現状と課題を把握する。以上のことが必要であると考えています。

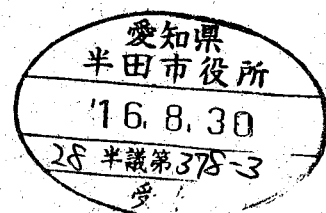
○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

貧困の子供は貧困の連鎖からなかなか脱け出せない。生活保護の子供は20%また生活保護になる。という現状がある。親しか大人を知らないで育つので、頑張っても一緒だとあきらめてしまい、夢をもたない、という現状。課題はこの連鎖から抜け出すこと。きちんとした大人と接することで、夢を持てるような状況を作り出すこと。理想は、学校と地域がつながること。子供の居場所をつくること。というお話でした。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・子供の居場所を作ること。
- ・親以外の信頼できるきちんとした大人と接すること。
- ・3年生という区切り(夢をあきらめてしまう、頑張ることをやめてしまう)の年までに貧困の連鎖を断ち切る取り組みをすること。
- ・高校進学への取り組み(学習援助)
- ・地域包括の子供バージョンの必要性。

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第2号

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

・先生は、居場所づくりの必要性と学習支援とスクールソーシャルワーカーが少なすぎて時間が足りない旨を訴えておられた。スクールソーシャルワーカーの役割は大きく、かなりの子供を貧困から救えるという自信も見せておられた。貧困のこどもが進学できて、きちんと働けば、社会に出て2億円稼いで納税する、しかし、そのまま貧困を連鎖していくことは社会にとっても損失だから、お金をかけてスクールソーシャルワーカーをもっと増やし、正規雇用すべきであるというお話しは印象的だった。半田市(愛知県)は沖縄の次、2番目に中卒が多いということで全国平均200人に一人のところ100人に1人という。

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額(円)	領収書 No.
7/20	14時から 16時	勉強会 講師謝金	25,000	①
		岩田玲子分(7分の1)	(3,570)	
		合計	25,000	

	議長	管理委員長
確認欄	/	

# 政務活動費成果届出書

届出者 久世孝宏

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

国では、子どもの将来が生まれた環境によって左右されることのない様に貧困の状況にある子どもたちが、健やかに育つ環境と充実した教育を図るため、子どもの貧困対策を推進する事を打出しています。しかし半田市では、子どもの貧困の状況については、実態がつかみ切れていない状況にあり、その為有効な対策を打てていないと感じられます。そこで、

①子どもの貧困の状況について、実態を把握する方法を調べる。

②半田市が行っている政策の現状と課題を把握する。

以上の事が必要であると考えています。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

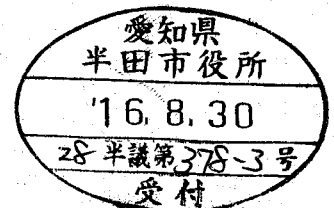
①子どもの貧困とは、経済的な貧困というよりも、社会の繋がりからの貧困状態と捉えた方がよいと感じた。ここで言う社会とは、家庭・教育・地域・労働と捉えている。この状態の子どもたちをいかに把握するかは、そのような意識で、学校や地域が子どもたちを観察(という言葉が適当かわからないけど)し、普段の行動から把握していく以外ないのではないかと。さらには、学校・地域と、家庭・行政の連携が効率を上げることに繋がると感じた。

②半田市は、自治会組織がしっかりしている、市民団体の活動が非常に活発であると言われているが、子どもの貧困対策では、地域と学校・行政との連携が未発達で、その良さが活かされていないと感じた。今までその必要性が見いだせなかつただけなのかもしれない。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・子どもの貧困を、経済的なことを課題とするのではなく、社会からの疎外が課題として対策に取り組むべき。
- ・社会からの疎外にある子どもたちの把握は非常に難しい。
  - (1) 全ての人々が、社会から疎外されている部分があるのではないかと、という目で子どもたちを観察する意識を持ち(啓発)、
  - (2) 全ての子どもたちが通う小・中学校で把握することを積極的に推進し、
  - (3) 学校と地域・家庭との連携(おかしいと思った情報の共有)による効率化ができるような方法を考えていく。

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第2号

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

--

○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額(円)	領収書 No.
7/20	14:00~ 16:00	勉強会 講師謝金	25,000	①
		久世孝宏分(7分の1)	(3,570)	
			合計	25,000

確認欄	議長	管理委員長
	/	



平成28年 8月24日

# 政務活動費成果届出書

届出者 渡辺 昭司

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

国では、子どもの将来が生まれた環境によって左右されることのない様に貧困の状況にある子どもたちが、健やかに育つ環境と充実した教育を図るため、子どもの貧困対策を推進する事を打ち出しています。しかし半田市では、子どもの貧困の状況については、実態がつかみ切れていない状況にあり、その為有効な対策を打っていないと感じられます。そこで

- ① 子どもの貧困の状況について、実態を把握する方法を調べる
- ② 半田市が行っている政策の状況と課題を把握する。

以上の事が必要であると考えています

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

①実態を把握する方法→学校で実態把握するのが効果的、他は要・準用保護、生活保護など「社会性を身に付けさせることが貧困から抜け出せるきっかけになる」は分かり易いアドナイスでした

② 学校・地域・行政の連携が不自由分 「何故不十分だったのか」  
スクールソーシャルワーカーの拡充 (足りない部分)

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

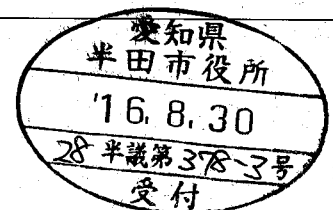
・学校と地域の人が情報共有できるシステムを構築する (社会性を身に付ける教育・潜在的な貧困家庭の把握)

\*子どもに社会性を身に付けさせるにはどうするか、社会性のある方は地域にお見えになる、特別な資格がなくても何かできるのではないか、人材発掘・人材育成

- ・スクールソーシャルワーカーの拡充
- ・貧困家庭数の現状把握 (愛知県と連携)

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額(円)	領収書 No.
7月20日	14:00~ 16:00	勉強会 講師謝金	25,000	①
		渡辺昭司分(7分の1)	(3,570)	
		合計	25,000	

平成 28年 8月 24日

# 政務活動費成果届出書

届出者      榊原伸行

○使途項目 (○をつける) 調査研究・     研 修 ・ 広 報 ・ 資 料 作 成 ・ 資 料 購 入

○タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

国では、子どもの将来が生まれた環境によって左右される事のない様に貧困の状況にある子どもたちが、健やかに育つ環境と充実した教育を因るため、子どもの貧困対策を推進する事を打ち出しています。しかし半田市では、子どもの貧困の状況については、実態がつかみ切れていない状況にあり、その為に有効な対策を打てていないと感じられます。そこで、

①子どもの貧困の状況について、実態を把握する方法を調べる。  
 ②半田市が行っている政策の現状と課題を把握する。  
 以上の事が必要であると考えています。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

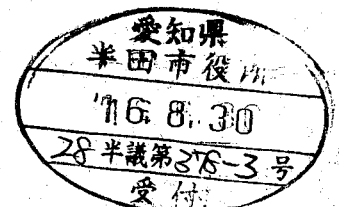
①貧困状況の実態把握方法は、学校現場、生活保護、要、準要保護、地域の主任児童委員、社会福祉協議会など連携して情報提供と共有をし個々の子どもに応じた対策対応支援が、必要である。  
 ②支援の対象になっていない隠れた貧困の子ども対策には、スクールソーシャルワーカーが必要不可欠である。  
 など貧困対策は、情報を如何に収集し個々の子どもに適した対応していくかが課題である。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

①貧困対策は、上記課題の為に各分野の連携と情報提供共有が必要でありまた個々の子どもに対応することから貧困対策連携室の設置を求める。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容	金額 (円)	領収書 No.
7/20	14:00~ 16:00	勉強会 講師謝金	25,000	①
		榊原伸行分 (7分の1)	(3,570)	
			合計	
			25,000	

別記様式第2号 (第3条関係)  
政務活動費成果報告書兼請求書

平成28年 8月24日

半田市長 榊原純夫 殿  
半田市議会議長 澤田 勝 殿

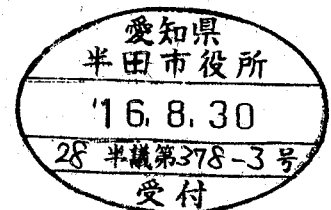
議員名 榎本好美 (印)

政務活動費成果報告書兼請求書

半田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条及び第8条の規定により、下記のとおり報告し、請求します。

記

- 1 活動内容 (成果報告)  
子どもの貧困対策について、貧困の状況の把握  
半田市の現状や課題に関する知見を得た。  
(詳細は、政務活動費成果報告書による)
- 2 既に交付を受けた額 0 円
- 3 今回請求額 3, 580 円
- 4 交付後の合計額 3, 580 円



平成28年 8月 24日

領収書等貼付用紙

議員名 鈴木好美

タイトル


子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

<p><b>領 収 書</b></p> <p style="text-align: right;">NO _____</p> <p style="text-align: center;"><u>金 25,000 円也</u></p> <p>但し、7月20日開催 半田市議会議員研修会の 講師謝金として、上記金額領収いたしました。</p> <p>平成28年7月20日</p> <p>半田市議会議員</p> <p>代表 鈴木好美 他 6名 様</p> <p>山内悟・小出義一・岩田玲子 久世孝宏・渡辺昭司・榊原伸行 野尻紀恵</p> 
--


研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。

研修費 25,000円を7人で按分 3,580円を計上

別記様式第2号(第3条関係)  
政務活動費成果報告書兼請求書

平成28年 8月24日

半田市長 榊原純夫 殿  
半田市議会議長 澤田 勝 殿

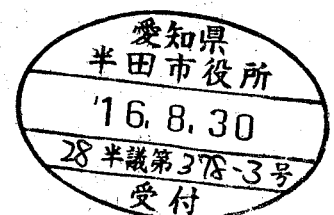
議員名 川出義一 

政務活動費成果報告書兼請求書

半田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条及び第8条の規定により、下記のとおり報告し、請求します。

記

- |   |   |         |
|---|---|---------|
| 1 | 活動内容(成果報告)  |         |
|   | 子どもの貧困対策について、貧困の状況の把握<br>半田市の現状や課題に関する知見を得た。<br>(詳細は、政務活動費成果報告書による) |         |
| 2 | 既に交付を受けた額   | 0 円     |
| 3 | 今回請求額   | 3,570 円 |
| 4 | 交付後の合計額   | 3,570 円 |



平成28年 8月24日

領収書等貼付用紙

議員名 小出義一

タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

<p><b>領 収 書</b></p> <p style="text-align: right;">NO _____</p> <p style="text-align: center;"><u>金 25,000 円也</u></p> <p>但し、7月20日開催 半田市議会議員研修会の 講師謝金として、上記金額領収いたしました。</p> <p>平成28年7月20日</p> <p>半田市議会議員</p> <p>代表 鈴木好美 他 6名 様</p> <p>山内悟・小出義一・岩田玲子 久世孝宏・渡辺昭司・榊原伸行 野尻紀恵</p>
--

研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。

研修費 25,000円を7人で按分 3,570円を計上

領収書の原本は、代表者鈴木好美の領収書等貼付用紙に添付



別記様式第2号(第3条関係)  
政務活動費成果報告書兼請求書

平成28年 8月24日

半田市長 榊原純夫 殿  
半田市議会議長 澤田 勝 殿

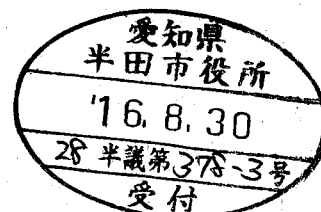
議員名 岩田玲子(印)

政務活動費成果報告書兼請求書

半田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条及び第8条の規定により、下記のとおり報告し、請求します。

記

- 1 活動内容(成果報告)  
子どもの貧困対策について、貧困の状況の把握  
半田市の現状や課題に関する知見を得た。  
(詳細は、政務活動費成果報告書による)
- 2 既に交付を受けた額 0 円
- 3 今回請求額 3,570 円
- 4 交付後の合計額 3,570 円



平成28年 8 月 24 日

領収書等貼付用紙

議員名 岩田玲子

タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">領 収 書</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">NO _____</p> <p style="font-size: 1.5em; margin: 10px 0 10px 40px;">金 25,000 円 也</p> <p style="margin: 10px 0 10px 40px;">但し、7月20日開催 半田市議会議員研修会の 講師謝金として、上記金額領収いたしました。</p> <p style="margin: 10px 0 10px 40px;">平成28年7月20日</p> <p style="margin: 10px 0 10px 40px;">半田市議会議員</p> <p style="margin: 10px 0 10px 40px;">代表 鈴木好美 他 6名 様</p> <p style="margin: 10px 0 10px 40px;">山内悟・小出義一・岩田玲子 久世孝宏・渡辺昭司・神原伸行 野尻紀恵 </p>
--

研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。


研修費 25,000円を7人で按分 3,570円を計上

領収書の原本は、代表者鈴木好美の領収書等貼付用紙に添付

別記様式第2号(第3条関係)  
政務活動費成果報告書兼請求書

平成28年8月24日

半田市長 榊原純夫 殿  
半田市議会議員 澤田勝 殿

議員名 久世秀宏 

政務活動費成果報告書兼請求書

半田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条及び第8条の規定により、下記のとおり報告し、請求します。

記

1 活動内容(成果報告)

子どもの貧困対策について、貧困の状況の把握、  
半田市の現状や課題に関する知見を得た。  
(詳細は政務活動費成果届出書による)

2 既に交付を受けた額	0	円
3 今回請求額	3,570	円
4 交付後の合計額	3,570	円



平成28年8月24日

領収書等貼付用紙

議員名 久世孝宏


タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

領 収 書	NO _____
<u>金 25,000 円 也</u>	
但し、7月20日開催 半田市議会議員研修会の 講師謝金として、上記金額領収いたしました。	
平成28年7月20日	
半田市議会議員	
代表 鈴木好美 他 6名 様	
山内悟・小出義一・岩田玲子	
久世孝宏・渡辺昭司・神原伸行 野尻紀恵 	


研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。

研修費 25,000円を7人で按分 3,570円を計上  
領収書の原本は、代表者鈴木好美の領収書等貼付用紙に添付

別記様式第2号（第3条関係）  
政務活動費成果報告書兼請求書

平成28年 8月24日

半田市長 榊原純夫 殿  
半田市議会議長 澤田勝 殿

議員名 渡江昭司 

政務活動費成果報告書兼請求書

半田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条及び第8条の規定により、下記のとおり報告し、請求します。

記

- |   |          |
|---|----------|
| 1 活動内容（成果報告）  |          |
| 子どもの貧困対策について、貧困の状況の把握<br>半田市の現状や課題に関する知見を得た。<br>（詳細は、政務活動費成果報告書による） |          |
| 2 既に交付を受けた額   | 0 円      |
| 3 今回請求額   | 3, 570 円 |
| 4 交付後の合計額   | 3, 570 円 |



平成28年 8月24日

領収書等貼付用紙

議員名 渡辺 昭司


タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

①

<p>領 収 書</p> <p>NO _____</p> <p>金 25,000 円 也</p> <p>但し、7月20日開催 半田市議会議員研修会の 講師謝金として、上記金額領収いたしました。</p> <p>平成28年7月20日 半田市議会議員 代表 鈴木好美 他 6名 様 山内悟・小出義一・岩田玲子 久世孝宏・渡辺昭司・榊原伸行 野尻紀恵 </p>
---

研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。


研修費 25,000円を7人で按分 3,570円を計上

領収書の原本は、代表者鈴木好美の領収書等貼付用紙に添付

別記様式第2号（第3条関係）  
政務活動費成果報告書兼請求書

平成28年 8月24日

半田市長 柳原純夫 殿  
半田市議会議長 澤田 勝 殿

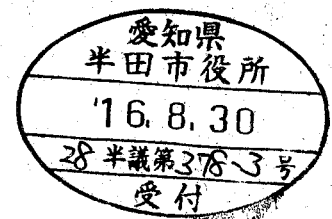
議員名 柳原純夫 

政務活動費成果報告書兼請求書

半田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条及び第8条の規定により、下記のとおり報告し、請求します。

記

- |   |   |          |
|---|---|----------|
| 1 | 活動内容（成果報告）<br>子どもの貧困対策について、貧困の状況の把握<br>半田市の現状や課題に関する知見を得た。<br>（詳細は、政務活動費成果報告書による） |          |
| 2 | 既に交付を受けた額   | 0 円      |
| 3 | 今回請求額   | 3, 570 円 |
| 4 | 交付後の合計額   | 3, 570 円 |



平成28年8月24日

領収書等貼付用紙

議員名 榊原伸行

タイトル

子どもの貧困対策について ～貧困の連鎖を断つ～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書No.が分かるように貼り付けること。

①

領 収 書	NO _____
<u>金 25,000 円 也</u>	
<p>但し、7月20日開催 半田市議会議員研修会の 講師謝金として、上記金額領収いたしました。</p> <p>平成28年7月20日 半田市議会議員 代表 鈴木好美 他 6名 様 山内悟・小出義一・岩田玲子 久世孝宏・渡辺昭司・榊原伸行 野尻紀恵</p>	

研修会の講師謝金は、同席者7名で按分する。

研修費 25,000円を7人で按分 3,570円を計上

領収書の原本は、代表者鈴木好美の領収書等貼付用紙に添付